

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団水害対策事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	04	02	03
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	水害により救護等を必要とする市民	意図	訓練及び視察等を実施し水防団員（消防団員兼務）の水防に関する知識及び技術の向上を図るとともに、水害時の被害の軽減を図る。
事業内容	年間を通して水害時に出勤し被害の軽減を図るとともに、水防団員（消防団員兼務）及び消防吏員による水防訓練の実施及び視察を行い、水害発生時に係る警戒及び出動体制の確立を図るもの。			
事業開始から現在までの状況変化	本市消防団は発足に併せ水防団を兼務することとなっており、江戸川等における水害に対応するため、水防活動の主力として継続して活動している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	東葛中部地区連合水防団水防演習訓練参加割合	31.94	0	36.33	%	↑↑↑	訓練参加水防団員/水防団員総数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 松戸市水防団と隔年で合同演習を実施し、水害発生時における警戒活動及び水防工法の技術向上を図っている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,144,014	697,796	678,747				
事業費(b)(円)		25,014	26,596	19,547				
うち一般財源		25,014	26,596	19,547				
職員給与費(c)(円)		4,119,000	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.60	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	松戸市と共催で東葛中部地区連合水防団水防演習を実施し水害対応に係る体制の強化を図る。	③取組における課題(Check)	水防団員（消防団員兼務）が水防工法技術等を充分習得することが出来る訓練等を実施する。
②H30に実施した取組(Do)	東葛中部地区連合水防団水防演習の実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	今後も松戸市と共催の東葛中部地区連合水防団水防演習を継続開催し更なる技術の向上に資する。